

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【芝原小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> さいたま市学習調査において、算数科の平均正答率が市の平均正答率を下回っている。ほぼ全ての領域において、3ポイント以上下回っている。 <指導上の課題> 正答率の分布図を見ると、正答率の個人差が大きく、個に応じた指導を充実させる必要がある。	⇒ 従来の問題解決型の学習に捉われるのではなく、1時間の授業の流れや単元計画を工夫することで、「指導の個別化」「学習の個性化」を意識した授業改善を行っていく。【毎時間】 単元ごとに学年で教材研究を行うことにより、児童が主体的に学習に取り組み、基本的な知識及び技能の確実な定着を図る。【毎単元ごと】
思考・判断・表現	<学習上の課題> さいたま市学習調査において、算数科の平均正答率が市の平均正答率を下回っている。ほぼ全ての領域において、3ポイント以上下回っている。 <指導上の課題> 正答率の分布図を見ると、正答率の個人差が大きく、個に応じた指導を充実させる必要がある。	⇒ 今年度の芝原小学校は学校課題研修として、「わかるできる喜びを味わい、自ら学びに向かう児童の育成」を目指している。算数科における授業の型「芝原スタンダード」を作り、全職員と共通認識を図る。そうすることで、解決の見通しをもって自力解決する場面を授業で設定できるようにする。【毎時間】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)